

小牧市おもちゃ図書館きららは、しょうがいや発達に不安のあるお子さんを対象に、おもちゃの貸し出しや、遊びの企画(あそぼうDAY)をしています。

きららニュース

発行:小牧市おもちゃ図書館きらら
〒485-0832
小牧市応時三丁目230番地
デイサービスひかり内
☎(0568)71-1003

長い梅雨が明け、いよいよ暑～い夏がやってきました。みなさん、お変わりありませんか？

今年は新型コロナウイルスの影響で、夏祭りや盆踊り、花火大会など夏のイベントがことごとく中止になり、ちょっと寂しい夏休みのスタートとなりました。今号では手作りおもちゃや、ボラのメンバーの、コロナ禍の過ごし方を紹介しています。夏らしい経験や思い出を身近な暮らしの中で感じる、作りだす、そんな日々のスパイスになったら、うれしいです。

さて、新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉館していたおもちゃ図書館が、7月1日から再開しています。みなさんに安心して利用していただくために、次のことをお願いしています。ご理解、ご協力をお願いいたします。

【おもちゃ図書館きららの利用者のみなさまへ】

☆おもちゃ図書館の利用は、登録が必要となります。

☆大人の方は、マスクを必ず着用してください。



【新型コロナウイルス感染拡大防止の為、お願いしたいこと】

★入室前に「利用される方全員(大人、子ども)の氏名」「体温」の記載をお願いします。

★入室の際は、手指の消毒をお願いいたします。

★人数が多い場合は、「三密」を避けるようにお願いいたします。

(おもちゃを借りていく、滞在時間を短くする、グループで集まって利用しない等ご協力をよろしくお願いいたします。)



【あそんだおもちゃについて】

★あそんだおもちゃは、専用場所(シートの上、箱の中)で消毒を行ってください。

(消毒したおもちゃの片づけは職員が行います。)

★なめた・口に入れてしまったおもちゃは指定の箱の中に入れてください。

(後で職員が消毒を行います。)

分からない事がありましたら、職員までお声かけください。



ご協力をよろしくお願いいたします。

紙コップのカラフル熱帯魚の作り方

針金や磁石は使わず
安心です！しかも簡単！

用意するもの

- ・紙コップ ・色紙 (赤でもなんでもOK)
- ・目にする丸シール (紙をはってもOK)
- ・はさみ&セロテープ (ボンドでもOK)

① 赤い色紙を丸く切って紙コップの底にのりづける。コップのつなぎ目の両側に丸シールを貼る。
※つなぎ目のところですよ～



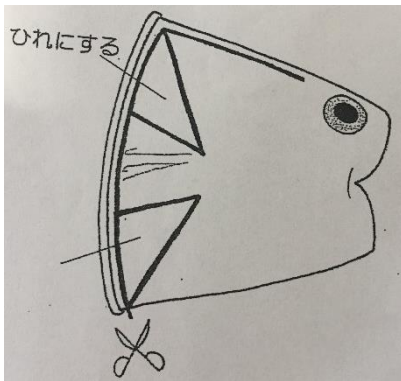
② 紙コップの底部の中央を押ししてへこませる。お口になりますからね。写真のようにはさみを立てて上からギュッと押ししてください。



③ ②でへこませた部分を上下からしっかり押さえて中心に折り目を作る。



④ 紙コップを押さえながら、太線に沿って切る。



輪の部分は
こんな感じになりますよ

⑤ ひれをつけたり、デコったりして♪ 完成！できあがり！❤️

牛乳パックを切って釣り針にしました。釣りざおは
広告紙をくるくると棒にして、たこ糸をつけました。



正面 かわいい ❤️



たくさん作って
魚つりごっこを
楽しんでねー

横からも かわいいのお(親バカ)



「コロナ禍の中、 どんな風に過ごしてる？」



【船橋さんの過ごし方】

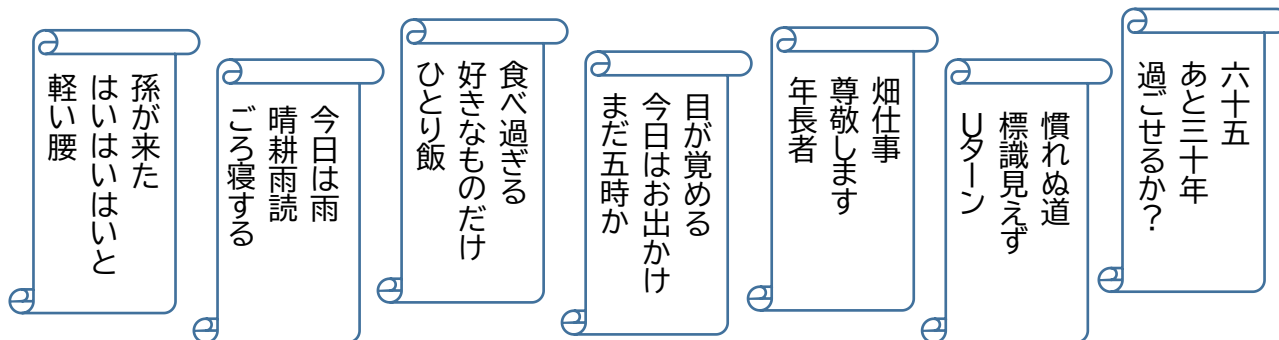
①食事の写真を撮る

家族は皆在宅。一日三食作るのは気が滅入っていた。でも毎食写真を撮ろうと決めてからは、誰かに見せるわけでもないが、楽しく料理に向かえるようになった。盛りつけも工夫し品数も増えた。



②川柳を作る

日記は続かない私だが、毎日一句川柳を作ることにはまった。その日心に残ったことを、17音で表す。言い方を考えたり、順番を変えたりすると趣も変わって楽しい。何でもない一日が彩られる。毎日が大切に感じられる。



【浅野さんの過ごし方】

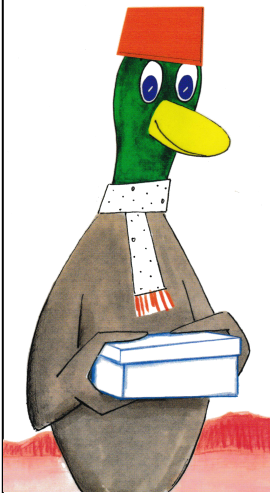
緊急事態宣言が出た後、毎日1時間以上ウォーキングかサイクリングで、近所をぐるぐるめぐることになりました。毎日同じルートでは飽きるから、極力初めての道を探していきました。するといろんなことを発見。江戸時代に名古屋と江南をつないでいた岩倉街道を歩くと、情緒ある古い家並みがあちこちにのこっており、往時の繁栄が偲ばれます。またその街道から少し外れたところに、高さ3メートルほどのコンクリート製の富士塚も発見。富士塚とは、ミニ富士山を造って手軽に登ろうというもので、江戸時代に大流行した富士山信仰のモニュメント。見つけた富士塚は近代になってコンクリートで固めてしまったのかな。わずか数歩で登ってしまう富士山の頂上には、ちゃんと富士浅間神社が祀られていました。10年以上ここに住んでいながら、この春初めてその存在を知りました！

それから空き家の多いことにも驚きました。朽ち果てそうなあばら家はもちろん、蔦のからまるこじやれた洋館や広い庭のある瀟洒な日本家屋まで、本当にたくさんの空き家がありました。世の中にはこんなに空き家があるのに、一方で新築の建売住宅もいっぱいあって、なんだかなあ…。今の日本には、古い家に手を入れながら住み継いでいくという文化が育っていないことに、あらためて気づかされました。



ぼくのたからもの

◆カタリーナ・ヴァルクス作
クレヨンハウス



およぐのがとってもじょうずなバルは、近ごろ貝がらさがしに夢中。ところが、あつめた貝がらをともだちのミュミュに見せたところ「あんまりぱっとしないわね」と言われてしまいます。さあ、バルはどうするかな？

サイモンは、ねこである

◆ガリア・バーンスタイ 作
あすなる書房

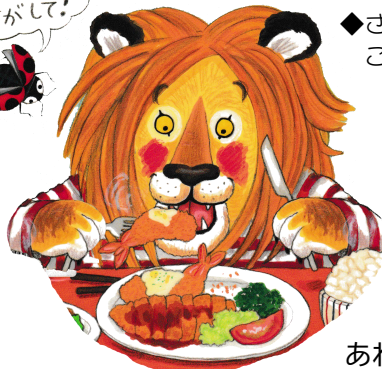
ネコのサイモンに「ぼくたち、にてますね」と言われたライオン、チーター、ピューマ、クロヒョウ、トラは、大笑い！

でも、よく見てみると、似ているところがいっぱいあるよ。ってことは「オレたちネコの仲間!？」



てんとうむしのはじめてのレストラン

◆さいとうしのぶ 作
こぐま社



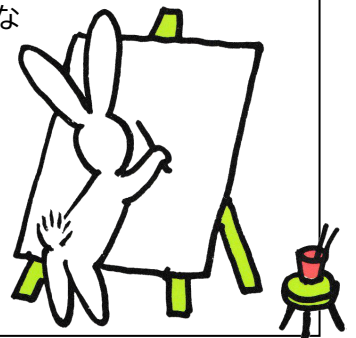
いいにおいさそわれてレストランにはいったてんとうむし。あれ、どこへいったかな？

てんとうむしのほかにも、いろいろかかっているよ。さがしてみてね！

なにをかこうかな

◆マーグレット&H・A・レイ 作
文化出版局出版

うさぎのビリーが絵をかきはじめました。すると、つぎつぎとどうぶつたちがやってきて、ビリーの絵に、いろいろなものをかいていき、へんてこな絵に。ビリーは泣き出してしまいますが、良いことを思いつきみんなハッピーに！



久しぶりに、ラピオのえほん図書館に行ってきました。借りる絵本を持って受付に行く途中「ん？あれはなんだろう？」。大きなレンジのような機械の前で何かをやっている人がいます。見ていると、絵本を入れてスイッチをON！すると、箱の中が青っぽく光るではありませんか。さっそくスマホで調べてみたところ「図書(書籍)除菌機」というものであることがわかりました。ページの間に挟まったホコリなどを除去し、紫外線でページの中まで除菌し、消臭・抗菌までするのだとか。こんなすぐれものがあるなんて知らなかったー。次に行った時には、ぜひ使ってみようと思います。 BY ひらて